

専門医試験全員合格

日時：平成30年1月7日(日)
場所：港区笹川記念会館



安藤 寿勇
(千葉県)



北沢 伊
(千葉県)

今回、専門医に合格できありがとうございます。今思うと長い年月がかかってしまいました。10年前にCISJに入会し、3年位で認証医を取得しました。その後仕事が忙しかったり、意欲が湧かなかったり、体調を崩したりで専門医試験から遠うざかっていました。しかし自分が今までやってきたインプラントをこのままで終わらせるわけにはいかないと奮起し今回の試験に臨みました。予想通り20症例は難関で、試験当日も緊張感が凄くかなり疲労しました。それと長い年月がかかったので合格はとても嬉しかったです。ひとえに臨床研究会の先生方のお蔭ととても感謝しています。これからもご指導のほどよろしくお願いします。

安藤 寿勇

専門医試験全員合格の報告を受けて

私は2007年に当会100時間講習会を受講し、2011年に認証医(現在の専修医)を修得しました。その後、専門医へのステップアップを目指していましたが、なかなか症例が集まらず、月日が流れてしまいました。

北沢 伊

日本口腔インプラント学会専門医試験合格報告

2018年の専門医試験は極寒のまだ正月気分冷めやらぬ1月7日に東京三田の笹川記念館で開催された。試験は2部構成で第1部は筆記試験、第2部が口頭試問である。筆記試験では試験官が専門医委員会の先生はじめ、著名な教授たちが慣れない手つきで答案用紙を配っていた。「とにかく何か書け!」「書けば点に結び付くが何も書いていなければ点にはならな

いから。」と試験官から励ましのお言葉があったのが印象的であった。

口頭試問では一度に10テーブルくらいが同時進行で行われ3人の担当試験官への症例の説明とそれに対する質問で、あっという間に時間が過ぎた。当研究会では3月の個別相談会、7月の受験者申請審査会、12月の直前説明会としっかりとしたサポートがあり、受験者にとっては大変心強かった。最後になりますが専門医委員会 小倉隆一先生はじめ、委員の先生方のお力添えに感謝いたします。

宇田川 宏孝

田中会長をはじめ、数多くの先生方にお力添えを頂きまして取得させて頂くことができた実感致しております。心よりお礼申し上げます。

また本会での研修会や全員発表研修会に参加させて頂く事により、学会発表や受験に際しても大きな力を与えて頂いたと感謝しています。

新たな目標をもって、技術の研鑽を図り、臨床を深めていきたいと思っておりますので今後ともご指導・ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

田中 栄次

感謝の気持ちを忘れずにインプラント治療の発展に貢献

私は今回、日本口腔インプラント学会の専門医試験を受験させて頂き、無事に合格することができました。御指導頂いた先生方を始め、多くの方々に感謝申し上げます。専門医試験合格の要因を自分的に考察すると、



宇田川 宏孝
(東京都)



田中 栄次
(京都府)



福西 雅史
(神奈川県)



藤田 悟朗
(栃木県)

- ・ 専門医取得という目標を掲げ、それを最優先に努力を続けた
- ・ CISJや日本口腔インプラント学会等で継続して研修を受け続けた
- ・ 多くの先輩、友人、後輩に恵まれた
- ・ 多くのスタッフ、技工士、業者に恵まれた
- ・ 基本に忠実に安全安心で確実なインプラント治療を考えた
- ・ 親切でメインテナンスの意識の高い患者さんに恵まれた
- ・ エックス線写真、口腔内写真などの基礎資料を積極的に保存した
- ・ 妥協しないで深く徹底的に勉強することを心掛けた

インプラント治療を始め、歯科治療は一人では行うことができません。治療をさせて頂く患者さん、協力してくれるスタッフ、技工士、業者さんがいてくれるからこそ、成り立ちます。また、先輩や多くの方に、多くのことを教えて頂いています。また、研修会・委員会への参加、勉強会や学会での発表、CISJニュースへの投稿などを通して、自分の役割を理解して全うすることの重要性を感じ、また妥協しないで、論文や書籍を集め、自分で勉強してまとめて、アウトプットすることにより、それらの積み重ねが、想像以上に自分の経験、実績、自信につながっていくことができていると思います。

また、インプラント治療は絶えず、患者さんのリスク・要望・メインテナンス・クレーム・トラブルと向き合っていく必要があります。患者さんと良好な関係を築き、なおかつどのような事態にも動じないで対応していくことができる、自分自身の強い信念・メンタルコントロールの重要性を痛感しています。

幸い、CISJには、私が足元にも及ばない、技術・経験・向上心を持ち合わせた多くの先生方がいらっしゃいます。今後も私も、それらの先生を見習い、目標とさせて頂きながら、経験・研修を積まさせて頂けましたら、幸いです。

最後に、インプラント治療は数十年の歴史を持ち、

現在も、絶えず新しいコンセプトや機器・材料が開発されています。私はそれらについて、これからも十分に勉強して、実践して、その結果をアウトプットして伝えていくこと、その積み重ね、結集がエビデンスとなり、インプラント治療の着実に大きな発展につながっていくと考えています。

これからも、CISJの多くの先生方・衛生士・技工士・業者の方々と協力して、インプラント治療の発展に貢献していきたいと考えています。今後とも、御指導の程、宜しくお願い申し上げます。

福西 雅史

専門医修得にあたり

私は2007年に当会100時間講習会を受講し、2011年に認証医(現在の専修医)を修得しました。その後、専門医へのステップアップを目指していましたが、なかなか症例が集まらず、月日が流れてしまいました。

年々、条件が細かくなっていく中で焦りがありましたが、日ごろからアドバイスを受けながら、認定講習会受講後10年でようやく症例が集まり、専門医試験を受験することができました。

専門医委員会の方々、大学卒業から現在までお世話になっている小倉先生の懇切丁寧なご指導のおかげで、無事に合格することができました。自己研鑽を深め、ご協力頂いた方に報いられるようになりたいと思います。

ありがとうございました。

藤田 悟朗